

令和二年十一月十五日

金沢市デジタル工芸展 茶会会記

主 於 谷村宗昇(遠州流)  
金沢21世紀美術館山宇亭

寄付(松涛庵)

床 久隅守景筆 紅葉時雨図

蓑盆 立山杉

火入 ラオスの器

福嶋則夫 作

四井雄大 作

初入(山宇亭)

床 小堀遠州筆 道歌小色紙

丸かれと思ふ心のかどにこそ

よろずの事のもののかかるに

香合 四方円相蒔絵

西村松逸 作

炭斗 籐網代桔梗形

本江和直斎 作

羽箒 野雁

十二代宮崎寒雉 作

釜鏝 釘形

十二代宮崎寒雉 作

火箸 桑柄樺巻

十二代宮崎寒雉 作

灰器 南蛮甕蓋

十二代宮崎寒雉 作

灰匙 桑柄

吉はし 製

釜敷 紙

御菓子 秋の山

器 宗和好縁高

銅鑪 砂張一尺三寸

初代魚住為楽 作

後入(山宇亭)

花入 尺八細竹「初時雨」

本江和直斎 作

花 初嵐 満点星の照葉

釜 鬼霰

宮崎匠 作

縁 黒柿

水指 大樋飴釉瓢形

茶入 萌黄金彩

大樋陶治斎 作

袋 吉野間道

茶杓 黄楊木

氷見晃堂 作

茶碗 大樋黒

十一代大樋長左衛門 作

替 椿灰白化粧

板橋廣美 作

建水 木地曲

蓋置 青竹引切

御茶 宗実家元好 清湍乃白

上林春松 詰

以上